

令和元年度（2019年度）活動動報告書

法人の名称 認定NPO法人ミニシティ・プラス

1. 事業活動方針

NPO 法人ミニシティ・プラスは「こどもの社会参画」を推進するためにさまざまな角度から事業を行っています。令和元年度（2019年度）も、定款に基づき、「まちづくり」を通して、大人も子どもも、生まれてきたすべての人が、社会の大切な一員であることをお互いに認め合い、助け合っこそ、より良い社会がつけられるという団体の理念を実行して来ました。また、このような活動を持続可能なものにしていくために、昨年度指定NPOになり、2019年12月24日をもって、当法人は、認定NPO法人となりました。今後いっそう活動を充実させていこうと決意を新たにします。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る活動

① こどもが創るまち「ミニシティプログラム」の研究、開発に関する事業

2019年度13年目の「ミニヨコハマシティ（ミニヨコ）」は、都筑区総合庁舎区民ホールの3月の土日の予約が埋まっていたため、次年度4月4日5日と開催することになり、準備を進めていましたが、コロナウィルスの影響で中止となりました。途中まで会議を進めており、新規参加の子どもたちが楽しみにしていたのでとても残念です。そのため3月に購入する予定だった材料費やレンタル予約などがゼロになり、助成金を大きく返却することになりました。

また、ミニたまゆり（田園調布学園大学）が中心となり、実施しているかながわ子ども合衆国事業のこども副大統領に、ミニヨコ市長が就任していたこともあり、ミニヨコとして、他地域のこどものまちに出店するなど、交流を深めました。

◆ 第12回「ミニヨコハマシティ」開催準備会議

内容) こどもがつくるまち「ミニヨコハマシティ」の準備会議。その後コロナウィルスの影響で会議もイベントも中止。4月4日5日は活動のパネル展示のみに変更。準備を3月末まで行いました。

場所) シェアリーカフェ、都筑区民活動センター（こども会議）

実行期間) 2019年12月より子ども会議開催～2020年3月31日

従事者人員) 8人

受益対象者) ミニヨコ運営市民30名

支出額) 535,335円

◆ かながわ子ども合衆国参加

内容) 田園調布学園大学が事務局となり、かながわのこどものまちのネットワーク構築と、これから新しいまちを開きたい地域への支援をするプロジェクト。ミニヨコ市長が副大統領に当選し、他の子どもたちを訪問し、ミニヨコの店舗を開きました。

場所) 田園調布学園大学、神奈川県庁、大磯、葉山、川崎等

実行機関) 2019年4月～2020年2月

従事者人員) 3人

受益対象者) ミニヨコハマシティ市長、副市長、運営市民代表

支出額) 上記ミニヨコハマシティに含まれる

② 「ミニシティプログラム」の普及・啓発に関する事業

◆ 緑区こどものまちづくりイベント運営

内容) 緑区のこどものまちの立ち上げをお手伝いしました。こども会議の運営、当日イベントの運営について、ミニヨコハマシティを実施しているノウハウをつたえ、イベント本番の運営を実施しました。終了後報告書を作成しました。

場所) 横浜市緑区

実行期間) 2019年4月～2019年9月

従事者人員) 6人

受益対象者) 緑区の公募で集まったこども運営市民と当日参加のこどもたち

支出額) 4,322,419円

◆ 特命子ども回答団

内容) 生活クラブ生協の冊子「生活と自治」の大人の悩み相談室を担当しています。大人の悩みに答えるこどもたちの回答が好評です。
場所) 回答をする会議場所：シェアリーカフェ
実行期間) 2019年4月～2020年3月
従事者人員) 1人
受益対象者 ミニシティプラスの活動に参加するこども6名(回答者)。生活クラブ生協の冊子の読者
支出額 105,912円

◆ 基盤強化事業

内容) ミニシティプラスの活動をより公益的なものにしていくため、認定NPO法人を取得しました。寄付集めのためのホームページやパンフレットを作り直しました。昨年度の終わり頃から、当団体のファンドレイジング担当者が病に倒れ、多くは今年度は達成できませんでした。
場所) 会議場所としてシェアリーカフェ
実行期間) 2019年4月～2020年3月
従事者人員) 3人
受益対象者 ミニシティ・プラスを応援してくれている方、これから応援してくれる方
支出額 965,418円

③地域まちづくりの活性化を目指したイベントの企画・運営に関する事業

◆ つづきジュニア編集局

内容) 公募で集まったジュニア記者が、こどもたちの目線で、都筑区のまちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる活動。新聞発行等。
実行期間) 2019年5月～2020年1月
従事者人員) 3人
受益対象者) 小学5年～中学生までの青少年 35名、新聞配布2万5千部
支出額 168,674円

◆ MMジュニア編集局

内容) 公募で集まったジュニア記者が、こどもたちの目線で、みなとみらいやその周辺のまちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる活動。新聞発行等。
実行期間) 2019年5月～2020年3月
従事者人員) 3人
受益対象者) 小学3年～高校生までの青少年 17名、新聞配布4000部
支出額 712,058円

◆ R25～TSUZUKI TEEN' S HACK

内容) R25の若い目線から都筑区の『人』にフォーカスし、企画・取材・編集・発信を行うプロジェクト。都筑区役所からの呼びかけで集まった若者7人が動画講座を受け、若者目線で都筑の魅力を取材し、発信しました。
実行期間) 2019年11月～2020年3月
従事者人員) 3人
受益対象者) 7名、動画配信を見た不特定多数の方たち
支出額 140,761円

④地方自治体や地域活動団体、国際交流団体等公益団体との協働事業

◆ 特命子ども地域アクタープロジェクト

内容) こどもの地域社会参画を推進する事業。公募で集まった22名の小学5年～高校生までの「特命子ども地域アクター」が、今年度は5カ所の特命を受け、大人と一緒に課題に取り組みました。
実行期間) 2019年5月～2020年2月
従事者人員) 10人
受益対象者) 小学5年～高校生までの青少年22人、まちづくり団体5
支出額 618,055円

(2) その他の事業

とくになし。